


結腸切除術を受けられる

様の入院計画表 (患者ID:) 年 月 日

岡山赤十字病院 病棟 (7階東) 外科 主治医

受け持ち看護師

患者様署名 (代理人署名)

日付	入院時		手術当日		手術後 1日目		手術後 2日目		手術後 3日目		手術後 4日目		手術後 5日目		手術後 6日目		手術後 7日目		手術後 8日目		手術後 9日目		手術後 10日目		手術後 11日目以後		
	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
達成目標	手術の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。				鎮痛剤を使用し、疼痛コントロールができる				創部に異常がない。離床の必要性を理解し、離床できる。				・退院できる。														
説明	・病状、手術について主治医が説明します。 予定日時 _____ ・入院生活、手術について看護師が説明します。 ・麻酔科医と手術室看護師の手術前の訪問があります。				・手術直後、主治医より家族の方に手術についての説明があります。				栄養士による食事指導 があります。 場所: 1F (内科処置室横) 栄養指導室 / () : ~ (食事期間中 予約制) 可能なら家族の方 (特に食事を作る方) と一緒に聞いていただきます。										・退院後の日常生活について主治医・看護師がお話します。								
検査					・血圧、脈拍、体温を測ります。 ・血圧、脈拍、体温を測ります。 ・腹部レントゲン (手術直後)				・熱を測ります。(朝・昼・夕) ・採血・胸部・腹部レントゲン ・採血 ・(必要時) 下肢エコー検査				・採血 ・熱を測ります。(昼)								・体重測定						
処置薬剤	・腹帯2枚 ・T字帯1~2枚 ・バスタオル2枚 ・ティッシュペーパー1箱		・手術に必要な物を揃え、油性マジックで名前を書いてください。 ・お腹の毛そりとうすじ・爪きりをします。		・朝、浣腸をします。 ・10時頃より点滴をします。(午後から手術の場合) ・手術衣 (お持ちします) に着替えます。 ・弾性ストッキングをはきます。 ・鼻から胃に管を入れます。 ・____時____分頃手術室へ行きます。		・酸素吸入をします。(指示ある時) ・点滴をします ・抗生剤の点滴をします。 ・手術中 ・夕方 ____時頃 ・鼻から胃に管が入っています。 → 抜去します ・腹部に管が入っています。 → 状態に応じて抜去します ・静脈血栓予防の皮下注射をします ・傷が痛む場合、鎮痛剤を投与します。		点滴は食事量に応じて少なくなります。										<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>よくかんでゆっくり食べましょう。</p> <p>管理栄養士の食事指導を参考にバランスの良い食生活を心がけてください。</p>  </div>								
安静度	・自由です。				・床上				・歩行可能です。合併症予防のため、できるだけ動いてください。																		
排泄	・トイレへ歩いて行ってください。				・尿の管が入っています。				・歩行可能になれば、尿の管を抜きます。(手術後1・2日目) トイレへ歩いて行ってください。																		
食事	・低残渣軟菜食(カユ)が出ます。		→		・____時から絶食です。 ・____時から絶飲です。		・絶飲食です。(口湯がある場合は、うがいをしましょう。)		水可	重湯	三分粥	五分粥	七分粥	低残渣全粥	低残渣並食												
清潔	・入浴又はシャワーを浴びてください。		・男性は朝7時から女性は朝8時からシャワーをあびてください。						・タオルで体を拭き替えます。				・タオルを配ります。				・傷やお腹の管が抜けた部分に水に濡れてもよい絆創膏に貼りかえたら、シャワーができます。										

特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○)
 総合的な機能評価: 自立 ・ 一部介助 ・ 全介助

入院時にこの用紙を持参してください 岡山赤十字病院 開始年月: H23.5. 最終改正: R1.6